

令和3年11月19日

保護者の皆様

吹田市立西山田小学校
校長 鬼頭 孝雄

令和3年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、6年生を対象として「令和3年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月中旬に、個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は、小学校の最終学年のみを対象とした調査です。今年度は、国語・算数の2教科に限られ、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことをまず踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えております。

対象となった6年生には、よりきめ細やかな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にさせていただきますようお願いいたします。

1. 教科に関する調査結果

●国語《概要》

◎国語 ⇒ 全国の平均正答率を、やや上回っている。

☆各領域における成果と課題

話すこと・聞くこと

- ・話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えることについては、全国値をやや上回っている。
- ・資料の目的を理解したり、目的や意図に応じて資料を使って話したりすることについては、全国値を上回っている。

書くこと

- ・自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考えることについては、全国値を上回っている。
- ・理由を明確にしながらか自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することについては、全国値をやや下回っている。

読むこと

- ・文章全体の構成を捉えて内容の中心となる事柄を把握することについては、全国値を上回っている。また、目的に応じて文章と図表とを結び付けて必要な情報を見つけることについては全国値をやや上回っているが、十分な結果ではなかった。
- ・中心となる語や文を見つけて文章全体を要約することについては、全国値をやや下回っている。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ・助詞の使い方を理解し、話や文章の中で使うことについては、全国値をやや上回っている。
- ・学年別漢字配当表に記されている漢字を正しく使うことは全国値よりやや下回っている。
- ・文の中における主語と述語の関係を捉えることは全国値をやや下回っている。また修飾と被修飾の関係を捉えることは全国値を下回っている。

《国語科における成果と今後の指導の改善点について》

国語の説明的文章やスピーチの構成文について、話の内容が明確になるように文章の構成を考えたり、目的や意図に応じて図表などの資料を選び、それらを活用したりする力は全国値を上回っている。一方で、限られた字数と条件に合わせて、理由を明確にしながら自分の考えを記述する力や、文章全体を要約する力には課題がある。考えを記述する力や文章を要約する力をつけるために、以下の活動を積極的に取り入れていく。

- ①理由や根拠を明確にして自分の考えをもち、それを文章で表現する活動
- ②段落ごとに内容の中心となる語や文を読み取り、全体の構成や内容を捉える活動

●算数《概要》

◎算数 ⇒ 全国の平均正答率を、やや上回っている。

☆各領域における成果と課題

数と計算

- ・四則計算の基礎は全国値を上回っている。
- ・商が1より小さくなる数量の意味を理解し計算する力については、全国値をやや上回っている。
- ・式の意味理解は全国値を上回っている。

量と測定

- ・条件に合う時刻を求める力については、全国値をやや下回っている。

図形

- ・図形の面積を求める力、複数の図形を組み合わせた図形の面積を求める力については、全国値を上回っている。
- ・複数の図形を組み合わせた図形の面積の比較については、全国値を下回っている。

変化と関係

- ・速さと道のり、時間の関係については、全国値を上回っている。

数量関係

- ・棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取る力については、全国値をやや上回っている。
- ・二次元表に情報を整理する力については、全国値を上回っている。
- ・帯グラフにおける複数のデータの比較については、全国値を上回っている。
- ・資料についてのデータの集め方の判断については、全国値を下回っている。

《算数科における成果と今後の指導の改善点について》

基本的な四則や図形の計算問題については全国値を上回っている。また、グラフや表などの資料の読み取りについても全国値を上回っている。しかし、複数のデータの比較や、その変化を捉える問題に対しては全国値を下回っている。また、文章問題において問われている内容を読み取る力についても課題がある。

授業では、基礎基本の力を育成すると同時に、身につけた力をもとに情報を比較検討するなどの活動を取り入れていく。また、求められている内容を的確に読み取ることができるよう、問題文とじっくり向き合わせ、問いに正対する答えを導き出すという学習を習慣化させていく。算数科のみならず、他教科においてもこうした学習活動を取り入れていく。

2. 生活習慣や学習環境に関する調査結果

(1) 自分自身のことについて

- ・「将来の夢や目標を持っていますか。」「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。」という設問に対して肯定的な回答は全国値を下回っている。
- ・「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。」という設問に対して肯定的な回答は全国値を下回っている。

(2) 家庭生活について

- ・「学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどのくらいの時間、勉強をしますか。」という設問に対して「1時間以上」の回答は全国値をやや下回っている。
- ・「学校の授業以外に、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか。」という設問に対して「1時間以上」の回答は全国値を上回っている。
- ・「朝食を毎日食べていますか。」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。」の設問に対して肯定的な回答は全国値をやや上回っている。

(3) 学校生活・学習について

- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか。」という設問に対して肯定的な回答は全国値をやや下回っている。

- ・「話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」という設問に対して肯定的な回答は全国値をやや上回っている。また、「話し合い活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか。」という設問に対して肯定的な回答は全国値を上回っている。
- ・「5年生までに受けた授業で、自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか。」「5年生までに受けた授業で、自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。」という設問に対して肯定的な回答は全国値を下回っている。
- ・「5年生までに受けた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」「学習内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができましたか。」という設問に対して肯定的な回答は全国値を下回っている。
- ・「授業でコンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか。」「コンピュータなどのICT機器を、意見を交換したり調べたりするために、どの程度使用しましたか。」という設問に対して「週1回以上」という回答は全国値を上回っている。

3. 今後の取り組み

吹田市教育委員会では、本調査を踏まえた「学力向上のための主要な視点」として、次の4つの視点を掲げています。

- ①9年間を見通した、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくり
- ②授業規律、生活規律の確立
- ③習熟度別授業等、一人ひとりに応じたきめ細かな指導
- ④自学自習力の育成

本校におきましても、これらの視点を大切に、学力向上の取り組みを推進していきます。学習面においては、各教科で基礎学力の定着をめざすとともに、習熟度別指導を充実させ、子どもたちが主体的に学習でき、友達と学び合う良さを実感できるよう授業改善をさらに進めていきます。また、家庭学習のあり方については、校内で共通理解を図りながら、学年の発達段階に応じた自学自習力の育成に努めてまいります。

生活面においては、小中連携を図り、9年間を見通した規範意識の醸成に努めます。様々な教育活動を通して、それぞれの良さが発揮できるような役割や場を設けることにより、責任感を育み、自己肯定感・自己有用感をさらに高めていきます。

今後とも、個々の児童に応じた学力の向上と基本的な生活習慣の確立をめざし、ご家庭と連携しながら取り組みを進めてまいります。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。